

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部
	17025	出屋排水路整備事業	課名	産業振興課 農業G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	01:一般会計
	基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進		06:農林水産業費
	施策の方向	04:災害に強いまちづくりの推進		01:農林水産業費
戦略プロジェクト	02:「安全カジャンプアップ」プロジェクト	05:農地費		
事業予定期間	H 26 ~ H 31 年度		主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	出屋排水路受益者
	目的	本排水路が未整備であることから、流下能力が無く上流に位置する農地が冠水し、営農に支障をきたしている。このことから、整備を行い、農地の持つ多面的機能を確保を図る。また、大雨時には、下庄駅が冠水し列車が運休することなどから、利用者へ大きな影響を与えており、この整備により治水対策を図る。
概要	未整備区間における出屋排水路の測量設計を平成26年度、これに伴う用地測量を平成27年度に実施しており、平成29年度は用地の取得し、平成30・31年度で整備工事を行う。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	用地買収(民地) A=218.98m2 無償譲渡(JR鉄道用地) A=894.84m2	排水路整備工事 L=140m	排水路整備工事 L= 192m	
	年度実績	用地買収(民地) A=218.98m2 無償譲渡(JR鉄道用地) A=894.84m2			
事業費	計画額	事業費	2,100千円	34,000千円	34,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	1,030千円	32,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	823千円			
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	1,030千円	34,000千円	34,000千円	
	一般財源	1,030千円	32,000千円	0千円	
	総人件費 ②	1,536千円			
	一般職員	1,536千円			
	所要人員	0.20			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		2,359千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称	用地取得	計画値	1,114		
			事業実施に伴う用地の取得	実績値	1,114		
				単位	m2		
	②	名称	排水路延長	計画値		140	192
			排水路整備による施工延長	実績値			
				単位		m	m
	③	名称	浸水解消面積	計画値		6	18
			排水路整備により浸水が解消された農地面積	実績値			
				単位		ha	ha

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 地権者との用地交渉を行い、用地買収に伴う、登記作業に時間を要したものの、計画どおり用地買収ができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 来年度からの工事が実施できる準備が整った。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 線路に近接していることから、東海旅客鉄道と調整のうえ、安全に工事を行う事が必要とされる。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 適切な時期に工事発注を行い、東海旅客鉄道、施工業者との3者による、線路近接工事覚書を締結する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 鉄道に安全な工事が実施される。	
対応時期		平成30年10月	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 農業グループリーダー 鳥喰 教義
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉